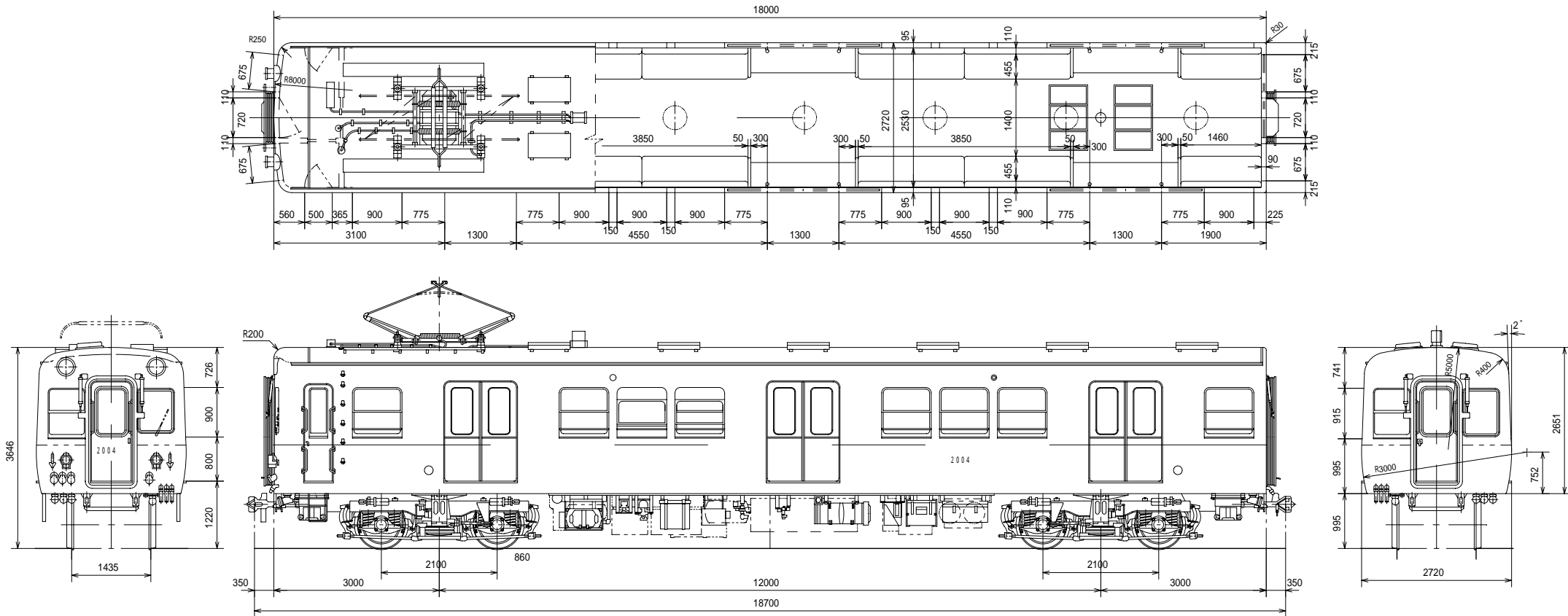


京阪電鉄 2000形 形式図



1959年にデビューした通勤用新型車
 スーパーカーと呼ばれ平坦線用でありながら電力回生ブレーキを常用するのが特徴
 阪神のジェットカーと同様に加速、減速率を高くとり、特急の間にはさまっても各駅停車運転ができる性能をもっている
 スタイルでは特に正面のデザインが印象的
 図は第一次グループ24輛の内、KS58台車を付けた川崎車輛製を示した
 その後、増備車のほか中間用2100形も製造されている